

【観光グループ】

(産業振興課長) 平成 28 年度は、それぞれの部門でテーマを決めて、そのテーマに沿って話し合いをして、1つの提言を導いていくという考え方です。ここは観光ですから、観光の部門として話し合いのテーマを、いっぱいありますよね、何かに絞りましょうと。そのテーマを1つ決めてそのことについて皆さんから考えていただいて、第2回目のときは意見を出し合って、その意見を自分がやるもの、みんなでやるもの、行政でできるものと大きく分けて3つ。それらの提言をまとめて、この部会の観光部会として意見書をまとめて町長に提言するという方針です。今日皆さんにお話ししてもらったのは、これも参考になると思いますがこれ以外でも、今年の28年度の方角について、軽米町の百人委員会の観光部会として、何をみんなで話し合うかの絞ると。いっぱいありますから、観光と言っても。皆さんで討議いただいて決めていただくと。決めていただいたのに対して今日も意見を出してもらいますけども、次の部会でもまた意見を出してもらって、3回目にはそれをまとめるという考え方で。しごと部会ではそういうふうな感じで昨日やったんですけども、しごと部会としてのテーマは何ですかということで、一応事務局から案を出しまして皆さんから話をしてもらって、なんだかんだと言っても若者の仕事がやっぱり必要だよなということで、若者の仕事を今年の話合いのテーマにしまして、皆さんに持ち帰っていただいて、次のときにはどんな仕事があればいいのか話し合ってもらって、私たちができること、みんなでできること、そして行政にお願いできること、大きく分けて3つぐらいを第2回で話し合って、部会としての意見を町長に提出するという形で考えてました。観光についても同じ考え方だと思います。最終的には取りまとめをして全体会で報告をして、その報告に沿って、役所で対応できるもの、今はできなくても来年できるもの、というようなものを考えていきたいなと思います。1つでなくても、1つに絞るのが無理なのであれば2つでもいいと思います。

(グループ員1) 観光部会として最重要課題を絞るということなんですが、これを見れば全部が話すべきことではあるなと感じますが、この中で選んでいくという意味なんですよ。

(産業振興課長) これは1つの案ということで出させていただいています。

(グループ員2) まず軽米町の観光はどういうのを目指していくかを考えてみて、そのためにはどんな観光を描いて、その元となる観光資源は何かというのを、個々人はご存じだと思うんですけども、まず整理してやっぱりこういう観光を目指すべきだと、そのへんから入っていくべきだと思います。

(産業振興課長) 今(グループ員2)がおっしゃったように、軽米町の観光は

どこを目指すべきなのかというのがテーマになりますね。そのためには、現状はどうなのか現状分析して、こういう問題がある、それを解決するためにはどうしたらいいのか。皆さんでやる部分と行政にお願いする部分が出てくると思いますので。その中で大変失礼な話して申し訳ないんですけども、看板が少ないとか対応が悪いとかチラシがないだとか、例えばインターを降りたらチラシを配ってとか意見があると思いますので、軽米の観光はどうあるべきか、それが1つのテーマでもいいのかなと思います。

(グループ員1) 皆さんは全員わかってると思います。観光となるべき、見るべきものというのは軽米には少ないわけですよ。それをどのように持っていくかということから入っていかなければならない。今すごくいいことというのは、軽米町は八戸を抱えてるというところがすごく大きいと思います。だから八戸の人たちを呼ぶということを1つ考えていく。そのためには何をどのようにしてどこに力を入れていくかという形になると思う。突飛な話なんですけど、例えばの話です。長倉大橋の両端を町で買って、青いのは全部切ってもみじとかやって、秋になったらあの辺が全部紅葉になるぐらいの気持ちを持ってないとうまくないという気持ちも自分ではあったんですよ。現実には無理かもわかんないけど。

(グループ員2) 八戸の人を呼ぶっていうのも現実的にありますよね。ただそれは、どういう観光を意識すれば八戸の人をもっと呼べるかということを考えて提言していかないと、八戸は八戸だし。私はミル・みるハウスとか行くと、あと盛岡で仕事していて、軽米はチューリップがあるよねというのと、八戸行くときに通ったというのがあるんですよ。歴史・文化に興味を持って来る人もいますよね。なので観光資源があって観光客がどういう目的で来てくれるのかっていうのを考えて、じゃあそういう人のためにどう整備しようというふうに提言できればいいのかなと。山菜とかの自然もありますしキノコ採りとか、産直を巡ってる人もいます。あとは親戚関係も多いから、しょっちゅう来て何か買っていくとか。あとは前にも話したんですけども、IGRの駅からハイキングというのがあるって、基本的には駅から歩くんですけども、軽米とか浄法寺方面はバスを使ったツアーもある。年何回か八戸の人がツアーを組んで来てくれる。実際どういう観光で来てくれるのかっていうのを1回考えてみた方がいい。それでそれをもっと増やすためにはどうしたらいいかっていうのを考えていかないと提言ができないと思う。八戸の人をどうやったら取り込めるかというのを。

(グループ員1) そのとおりだと思う。観光の核と言ったらいいか、それなんだよな。何を、どこを、というのが。

(グループ員3) ちょっといいですか。観光と言えば時期もあるだろうし、み

んなも知ってるとおり、軽米には本当の名所というか、そういうのを付け加えても、何か歴史的なものがあるものか、やっぱりみんなで再度認識する必要がある。例えば今八戸の話が出ましたけど、バスで来るのか車で来るのか、フォリストパークに寄ったら次はどこを見ていくか、次もあると思う。フォリストパークだけですぐ帰るのではなくて、時期によっていい所があればどこか寄りながら帰るとか。例えば観光バスで来て、1か所だけ寄ってそのまま素通りするより、軽米にはもう1か所か2か所あるよと、紅葉なら紅葉、桜なら桜、歴史的な遺産みたいな所があるよとある程度PRして、そういうふうなのがみんなでわかるようになれば、そういう所にも寄ると思うんですよね。そのへんの場所の宣伝というか、こっちにも書いてあるけど看板がないとか、場所がわかってるつもりなんだけど本当はよく知らなかったとか。

(グループ員4) この間のチューリップまつり、3日の日なんかすごく来ましたもんね。5日は天候が悪かったからだけでも、さっき皆さん言ったように、バスでせっかく来た方があそこを見てそのまま浜の方に行くという話でした。

(グループ員5) 何年前か、観光協会の理事会とか総会に提案というか話したことがあったけども、今ある例えばフォリストパークとかミレットパークに来た客が、それを見てそこで休憩なりをしても、そのまま帰るか別の場所に移動するっていう場合が多いわけです。だから1、2か所回るような方法ということで、今ある施設をもっと充実できないかなと。あるいはもっとこう充実整備できないものかなとということで提案したことがあった。例えば歴史民俗資料館とかロマンの森のところにあって、あそこにもう少しこうフォリストパークの後に回れるような雰囲気作りっていうか、工夫っていうのはできないもんかなと提案したんだけど、そのまま何もなくて流れてしまってるんですけどもね。せっかくあんな立派な何億もかけたような施設があつて本当にもったいないなといつも思ってるんですよ。

(グループ員4) 遠い方からは奥州の方からも来てるようですよ。

(グループ員5) 見たいって来るんだけども、来てみれば休館で入れなかったとかね。

(グループ員6) そういうのを私も感じてたので、ミル・みるハウスとミレットパークを統合させて、チューリップに来たらミル・みるハウスで産直いっぱい展示して、観光バス1台ぐらい来て、あそこでそばを食べてお土産を買って、もう少しあそこを入りやすく出やすく、あんなに草ボーボーにしておかないで、あそこを整備すれば、観光で来なくても普通の、今シニア世代は夫婦で道の駅回りとか頻繁にあるでしょ、観光だと構えて行かな

くても。南郷の道の駅なんか見れば、ああいう雰囲気になれば。ミル・みるハウスに寄って次はフォリストパークのチューリップを見ていくかとか、スポーツランド見ていくかとか。だからついでに観光も見る、観光の場所とってついでに寄るんじゃないで、ただ暇だから道の駅歩きしてたけど、こんなのもあるんだあんなのもあるんだとそこからつながるとか、そういう考え方もある。

(グループ員5) だから観光パンフなんか少しでも充実させて、映像でも軽米の町の名所を案内できるような形、とにかく1か所だけで済まないような形の観光巡りを進めればいいのではないかなと思います。

(グループ員6) いろいろあるんだけど、私の場合は、ミル・みるハウスをもっと道の駅っぽくして常時お客さんが来るようになれば、違う所にもそこからのつながりで行くような、例えば秋まつりだチューリップまつりだって大きいイベントは別としても、日常的にちょっと軽米を…

(グループ員5) すごくそういう案内には力を入れているつもりなんですよ。それが物産館とかミル・みるハウスとかは足りないと思うんですよ、案内の仕方が。せっかくあんな施設持っててさ。

(グループ員6) 野球とかパークゴルフとかテニスとかの大会で今から毎日のように来るでしょ。ただそこで試合してよそに行ってご飯食べてとか泊まってとか。

(グループ員2) せっかく来た人を1か所だけじゃなくて案内するというのは十分必要だと思います。その次の段階で、設備の問題はもう少し充実というのはあると思うんですけど、これから私が言うことを言うと響き買うと思うんですけど、ちょっとずつ思ってることを。民俗資料館とかフォリストパークに来てくれる、でどっかに行っちゃう。私は例えば民俗資料館なら民俗資料館で、九戸だったり二戸だったりよその町の民俗資料館と組んで回ってもらおうような、連携を取るようなことをやって、だって私たちがよそへ観光に行ったときに、ここはあのお店がある、そこだけじゃなくてその先のどこどこへ行こうと寄ってくれれば、市町村の境を越えますけれども、流れを、コースを作って、いいねというふうに思ってもらえるようになればそれでいいと思うんですよね。歴史とかもあるし、自然とか花とか、九戸だったり二戸だったり、そこから今度は軽米を通して旧山形の方に行ってもらおうとか、来てもらうためにはよそも利用するというか、連携しましょうよと。

(グループ員5) 今シバザクラなんか非常に知名度が上がってきてますでしょ。フォリストパークはある程度定着し始めてきた。シバザクラもあるんだから、ちょっと下りればロマンの森の辺りの民俗資料館なんか、すごく利用

価値があるのではないかなと。しかも小さいホールなんかあるでしょ、事務所の脇に。あそこなんかすごい利用価値があるんじゃないかなと思って。だからよそから来た人に小さい会議なんかで利用させるようにすればいいんですよ。そこをもっと利用できないもんかなと思うんですよ。掘り下げればすごくあるんですよ、いろいろね。シバザクラを見た帰りにそこに寄ってもらおうとか、そこで見れるようなものを、足を止めれるようなものを作れば。点で終わるのでなく2、3か所つなげるような形の。

(グループ員3) 確かに見る観光もいいだろうけど、やっぱり休む所も必要。オドデ館みたいにもう少し充実した、そこで飯を食うとか、観光バスが何台か止まって休憩時間にするとか、そういうふうな施設がやっぱりなければ。ミル・みるは観光バスが止まる所じゃないからね。

(グループ員6) 道の駅の定義みたいなのがありますよね。軽米のミル・みるハウスも道の駅にしたかったけど、条件とか資格が足りなくてならなかったって話聞いたことが。

(グループ員1) 今は作らないというような話なんだけど、まだやってるんだよな。作ってるところあるから。

(グループ員6) まあ道の駅っていう名前をつけなくてももうちょっと…。

(グループ員7) (グループ員6) が前に入りにくいということ saying たので、言われてみれば、通るたびに本当に入りにくいなって思いました。町の人だったら入り方がわかるけれども、よそから来た人が、例えば二戸方面から来て寄ろうとした場合に、すごく見通しが悪いじゃないですか。だからそこで曲がれるかどうか直前まで看板もないのでわからなくて、たぶん通り過ぎてしまう人もいっぱいいると思うんですよ。通り過ぎてしまったらこっちから入る行き方もあるんだけど、わからない人はそのまま…。

(グループ員6) 信号はあるし、そのうちまあいいやと通り過ぎるんだよね。

(グループ員3) ローソンの方が車が多いもんね。

(グループ員6) あそこのチューリップ畑いらないんだ。そこを取っ払って駐車場にして建物をもうちょっと明るい色にして。

(グループ員5) 角っていいようで良くないもんね。

(グループ員6) 同じ経費をかけて、役場でやってるから税金だろうけど、民間の会社だったらとてもじゃない、あの売り上げでは。民間の人にやらせればもっと人を入れられると思うんだよね。

(グループ員5) とにかく今ある施設を有効に活用することが一番手っ取り早い観光PRだと思うんですよ。

(グループ員6) これにも回答が出てるけれども全然前向きじゃない。今車社会だからほとんど観光バスで観光客を呼ぶっていうのは別として、普通に

ぱっと寄れるぐらいの。

(グループ員 1) 前にもちょっと話したけども、観光バスを出してる会社がいっぱいある。ああいうところに行って軽米インターから降りてもらってとかさ、いずれああいう所とかをバスの停留所にしてもらうという運動もあってもいいと思う。

(グループ員 6) そういうのも含めて、ミル・みるにも観光バスが入れるように、食事も 30 人分 40 人分用意して、あそこで食事をしてフォリストパークに行くとかそういった場所が軽米には考えてみれば全然ない。だから拠点とは言わないけどもせつかくいい設備があるんだから、もっとあそこをフル活用するところから始めればいいんじゃないかなって。もっともっと人が入れるようにできると思います。ものすごく車の通りがいいんだもの。ラーメン屋さんとローソンの方が狭いのに倍以上車も人も出入りがすごい。

(グループ員 4) ローソンなんかいつも人いるね。

(グループ員 1) 他の道の駅と比べて活気がないもんな。

(グループ員 6) 聞けば人が来ないから、農家の人だって置いても売れないから、後ろ向きなんだよねみんな。ばんばん人が出入りするようになればどんどん置けるわけだ、物をさばけるわけだ。特産物とか雑穀とか、ぶどうを置いたり、売ればどんどん人も来るんだもの。人が来ないから予算とれないとか、発想が逆だと思うんだよね。来るようにするにはどうしたらいいか。

(グループ員 3) 産業開発がやってるね、軽米町の第三セクターで。

(グループ員 1) 俺もミル・みるハウスに関係してるんだけども、やっぱり産直の部分をあれの 2、3 倍ぐらいにやってもいいもんね。

(グループ員 6) 天気の良い日は外にりんご箱なりを置いておけば、車で走ってきて「あ、産直だ」っていうふうにわかるわけだ。そこから入口はどこだべとわざわざ探しても入るんだけども、ぱっと見て「あれ、なんだべ」という感じでしょ。

(グループ員 1) 文句つくわけでないんだけども、食堂もつと味が良ければ。美味くないって喋られればそれまでなもの。困ったもんだ。あそこの産直の野菜とかを売る所を倍にしてもらいたい。あと食堂に関しても味を…。

(グループ員 2) 食堂の奥でソフトクリームを売っているがあの場所ではなかなか頼む人がいない。表にあれば。

(グループ員 3) どこでもそうだよ。久慈も野田もみんな。

(グループ員 6) ちょこつとあそこは手を加えれば素晴らしい施設になる。

(グループ員 5) 産業開発が来てないのがおかしいんだ、そもそも。

(グループ員 3) 社長は何やってるんだか。

- (グループ員 6) (グループ員 3)、産業開発の社長やって。
- (グループ員 5) 社員が来てないとだめなのよ 1 人。
- (グループ員 7) 全体会のときに、まちなかの物産館の休みのことも出ましたよね。土曜日に休みっていうのはありえないという話が。
- (グループ員 5) 年中無休にしなさいと、交代でもいいんだからさ。
- (グループ員 6) これには対応するってついてる。そういう話が出たからやりますってなったと思う。
- (グループ員 5) さっき言ったように PR もね、今新しいパンフレット作ってくれたようだけでも産業振興課で、あれなんか立派なもんですよ。ああいうふうなのをもっと物産館とかミル・みるで徹底して PR して、1 か所で帰らないでもう 1 か所回ってみるかという気持ちを起こさせなきゃだめ。
- (グループ員 7) 今二戸ではマップを作って配布してるんです。温泉マップだったり市内の。それをもっと市内の人たちに渡して軽米の見どころみたいななのを作ったマップをどこかで作って…
- (グループ員 2) パンフレットを持ってってくれる機会を増やす。そのためにはミル・みるなり物産館なり、あとミレットパークもそばを出してるんだったら、そばを食べられますよというのをもっとアピールしていかないと、知っている人しかあそこ行けないじゃないですか。だからパンフレットも作るけども、見せ方を、誘導をもう少しうまくやってほしい。ミル・みるはさっきも言ったけど、ソフトクリームとかコーヒーを若い人が食べてみようと思えるような。ほとんどあそこに行ってる人は年配の人で、若い人たちがドライブした時に入る機会がなかなか少ない。
- (グループ員 5) ちょっとぐらいおいしいとかじゃなかなかミレットパークまでは行かないよ。よほど美味しいなと思ったってなかなか行かないよ。
- (グループ員 6) 極端な話だけでも、ミレットパークは採算性がない所は思い切って無くして、ミル・みるハウスと統合させてあそこでそばを打って食べさせなさいと。そうすれば従業員をカットしなくたっていいんだし、その方が絶対採算性が、利益を追求しないと、何のために産業開発を立ち上げたんだと。山内の人には悪いけども。俺もそば食べに行ったけど 1 日 4 食とか 5 食なんだよ。
- (グループ員 3) 大型バスの運転手がミル・みるに入りづらいつて。マイクロぐらいだといいいけど。あそこは狭いんだよね。
- (グループ員 1) それなら簡単だよな。入口をちょっと広げるとかさ。
- (グループ員 5) すぐ対応できるようなことだ。
- (グループ員 2) ここで提言した方が話が早いと思いますよ。
- (グループ員 6) 今そういった案である程度ポイントを絞って、ここはこうや

った方がいいというのをここの全体の意見ですと、1つずつそういうのを
実現していくのも手じゃないですか。ただ意見だけ聞いてこんなの出され
ても意味ないわけですよ。そこをなんとかさせるように頑張って改善させ
るとというのが我々の仕事の1つじゃないかな。

(グループ員1) じゃあ1つはミル・みるハウスを核として活性化させるとい
う。確かに見てれば八戸ナンバーがけっこう多いんですよ。だからあそこ
を良くすればもっと八戸から来るんですよ。そのあとの流れはまた。

(グループ員6) あそこに行って休憩してれば、言ったマップみたいなものど
か、町に行けばロマンの森とかこういうのもあるんだ、ちょっと行ってみ
ようかとか、やっぱり休んで時間的に余裕がないと、みんな観光会社たち
にツアーを組ませて、次はここ次はここってけっこう疲れるじゃないです
か。

(グループ員3) だいたい休む時間が決まってるからね。

(グループ員6) 物産館に寄ったって食べる所がないだろうし、近くに食堂は
あるにしても。ハートフルに行ってパークゴルフやったってお土産も買え
ない。

(グループ員1) じゃあ1つのテーマは、「ミル・みるハウスの見直し」と言っ
たらいいか、それをとにかく最重点に。

(産業振興課長) そろそろ時間ですので、ここの観光部会の大きなテーマとし
て、軽米の観光をどうするかと。今日はその次の話まで踏み込んだんです
が、大きく分けて軽米町の名所、名所と言いますか、**フォリストパークに
行ったのはいいんだけども単発で終わってしまう**というのが1点目。それ
を改善するためには、歴史的な施設もあることだからそれらの整備をして
もらって、**軽米町のポイントを歴史民俗資料館なり2、3か所を回っても
らう**ことはできないだろうか、というのが1点。もう1つは、**ミル・みる
ハウスを核として**、例えば産直をもう少し大きくということで、産直は私
もそうだと思うんですが、外から見てわかりづらい。ですからテントなん
かも買って表に物を置くと。今すごくいい話が出たんですけども、ソフト
クリームとかコーヒーを表で出す、もちでもいいでしょう、それが見える
ような形で。**ちょっとした工夫によってもしかしたらお客さんが集まるん
じゃないかな**という。

(グループ員3) あそこにお知らせ版みたいな何かない？

(グループ員4) 俺が立ってるかな。

(グループ員5) 一里塚はミル・みるに移設すべき。土を盛って草を生えさせ
ればいいんだもん。観音林は間違いなくその場所なんだからさ。嘘偽りで
なくたまたまそこに都合で置いといただけ、そういう解釈の仕方しなきゃ。

- (グループ員 3) だからあそこのそばにお知らせ版あったもんね。
- (グループ員 5) 由緒書き書けばいいんだもん。いずれミレットパークの改善が急務だ。あんまり金のかからない方法でってなればそういうふうなのいろいろあると思うからね。
- (グループ員 1) 軽米だけでもルートづくりが必要だと思う。
- (グループ員 5) 点で終わるのではなく何か所か線でつながるような形の。
- (グループ員 7) 今の時期、国体とかの関係で来る人が今年はあると思う。そういうときに何かうまくやるとか、特産品だとか、そういう時期というのはなかなかないから、それをやっぱり利用しないといけないんじゃないか。ハイキューもそうだけれども、今は来てるのでそういう人たち、せっかく来てくれてる人たちを導いていくというか。
- (グループ員 3) それこそミル・みるみたいな所に大きな看板とか軽米町の地図でも。どこの道の駅にもあるよね。
- (グループ員 5) ミル・みるハウスに寄ったら何か所か歩きたくなるような拠点にしなきゃならない。そこで終わってしまうから。
- (グループ員 1) 年間通して集めてるっていうのはやっぱりあれか。チューリップに来るって言ったって年に何回もね。
- (グループ員 3) あれは時期的なものだからそれを併用して、例えば桜か紅葉があるかないか別にして。
- (グループ員 4) 大きな看板が必要です。ようやく見つけてきたっていう人いるよ。
- (グループ員 1) 今考えてみると、分散しすぎてるもんな。
- (グループ員 6) 何か2つでも3つでもある程度集約して、とりあえずこれっていうので押していかないとなんのための集まりだか。
- (グループ員 2) コースは作っただけではあれなので、新聞社とかマスコミに紹介してもらおうとか。
- (グループ員 1) なんか今度FMいわてが俺のところに取材に来るって。
- (グループ員 6) 金曜日の1時55分からだっけか、毎週5分間だけね。
- (グループ員 1) 軽米のPRしてやないとだめだなって。
- (産業振興課長) 1年間やりますから。
- (グループ員 1) 今日はこれで終わりだべ。
- (産業振興課長) 2回目も、今お話ししていただいたようなこととお話ししてもらって、どうあるべきかということで、場所的なものということで今日はお話がありましたので、次は場所じゃなくて内容というか突っ込んだ話を。
- (グループ員 5) そういうふうに言ってくれば考えてくれるでしょ、次までに。いきなり来て喋れって…

(産業振興課長) 今日はある程度ハード的なもの、もちろん必要です。ハードがないとソフトもできないので。今度はソフト、呼ぶためには、子どもを呼ぶためには、高校生を呼ぶためには、大学生を呼ぶためには、若いカップルを呼ぶためには、お年寄りを呼ぶためには、そういった別の面からの活性化の方法はないのか。

(グループ員5) 今日すごく話進んだと思うよ。前進したと思う。私が冒頭に意見を言ったのは進め方がわからないの。どういうふうにしていいか。それがたまたま3つの部門に分かれた。ハード面が出て次はソフト面だというふうに、次の意見を言いやすいような段取りをしてくれればありがたい。

(産業振興課長) 失礼な話して申し訳ないんですが、私たちも一応、産業開発の内部の方には入っていきませんが、施設管理、かなり老朽化してます。ミル・みるハウス、ミレットパークで大体2千万くらい、フォリストパークでも2千万から3千万くらい、それで一応予算要求はしたんですが、軽米には予算がないので、財政当局の方から何年間でやってくださいよということで、今年もけっこうお金つけてもらいましたけども、3年間で修繕していくことになってます。そういうふうな予算要求にしても、ここでもし出してもらえれば、内容を良くするためにどうすればいいかという提案をいただきました、それを予算化したいです、となったときにすごくインパクトがあるんです。正直な話、財布は1つですからその中でしか動けないんですけども、その中でもそのためのここから出した意見を予算化できるのであれば、少しずつですね、そういう感じの部会にしていければいいのではないかなと。今ある現実を認めながら、次のことを考えていかないと、若い人たちがうまくやるためにはどうしたらいいかということ、私たちが今提案していく、私たちができること、みんなができること、行政ができること。それはハード面もあるしソフト面もあると思うんですよ。今回はソフト的な部分をどうしたらよいか、ある資源しかないから、それをいかにうまく使うためにはどうしたらよいかということ、少し考えて来ていただいて、次また討論できればなど。

(グループ員7) 全体会でも出た気がするんですけど、ふるさと納税というのが他の市町村で話題になって、それが収入になってるじゃないですか。だから例えば、お土産品とか見返り品をもうちょっと考えて、町の収入になるわけだから、そういうお金を施設の方にも回せるようになるので、そういうのも考えられないかなって。

(グループ員5) でもあれかなり代金以上のものを送ってるって言うでしょ。それで採算が合っていないみたいですよ。

(グループ員 7) アイディア次第じゃないんですか。

(産業振興課長) (グループ員 7) のアイディアは、平成 27 年度から返戻品を見直しました。お陰様で増えました。こっちも多くすればいいんですけど、多くすれば金額がいくし、でも PR として、もらった人がこれいいなと思えばそういう広がり方もいいのかなと思いますけども、それはトータルで考えていくことじゃないかなと思います。

(グループ員 1) それは選べるようにしてるようだからいいなと思っていた。最後、今言ったとおり、もうちょっとミル・みるを良くするためにはという事で肉づけをみんなで考えてきて、それをまた次に出し合って、ミル・みるばかりでなくもう少し考えてみれば、次またお話ししやすいと思いますので。

平成28年度第1回軽米町百人委員会

文化部会議事録

○開催日時：平成28年6月2日（木）午後6時30分～午後8時00分

○開催場所：軽米町役場庁舎3階会議室

●文化の部

出席者	田名部晴夫、堀米成嘉、工藤敬一、菅原洋子、竹澤励、桜田博之 6名参加
1	・前回までで問題点が多く出たと思うが、新たな視点があったら意見ををお願いしたい。 座長は、私がやります。
2	・伊保内高校で郷土芸能を担当していたので、文化のグループに入った。郷土芸能への取り組みについて、九戸、軽米の取組みの比較を行いながら意見を述べて行きたいと思っている。 ・学校における郷土芸能の伝承活動についてだが、山内神楽なんかは小学校、中学校のときは学校活動で行っているが、高校で途切れている。ぜひとも高校生に郷土芸能の活動をやらせてみたいと考えている。
3	・秋祭りの参加者の減少についてだが、私たち蓮台野地区では、行政区内だけでなく他地区からの参加者に呼びかけるため、ホームページを作っている。町外からの参加者の方からも負担金をいただくことを了解いただいて、今年からやっている。なるべくたくさんの方から参加いただけるよう工夫して行っている。
2	・仲町はここ10年位祭りの山車運行に参加していないが、若者4、5人が中心になって、ぜひ復活させたいという動きが出てきている。ただ、山車を引っ張る子どもが少ないため、晴山や小軽米の子どもたちに働きかけを行いたいとも思っている。ただ、数名の若者はいるが、その上の年代が高齢化しているため、山車を出すまではいかないかもしれないが、仲町のどこかでお囃子を練習し、発表する時間を作ることなど話し合いを持っているところである。何らかの形で仲町も参加したい。
4	・秋祭りも郷土芸能も同じだが、子どもの数が少ないため、地域を限定しては、存続が難しい。神楽に限らず軽米全体を対象とした形にもっていかないと後継者確保は難しい。

軽米町百人委員会平成28年度第1回スポーツ・文化・観光部会議事録

(スポーツ部門)

(グループ員1) それでは座長をお願いします。

(グループ員2) 私によろしいですか。それでは座長を務めさせていただきます。さっそく始めたいと思います。事前に資料には目を通されたかと思うんですが、このスポーツの部門だけでもすぐに実現するのは難しいという回答がけっこうあるように見えます。この中でもいいし、また新たな意見でもいいです、様々な意見を出しながら深めていければと思いますので、よろしくをお願いします。

(グループ員3) さっき話しの中で出てきたんですけど、最終的にこの百人委員会というのは、とにかく提言というかこういうのがいいなというのを出し続けて、町の方に要望を出すという認識でいいのですかね。

(グループ員2) そう、どこまでやればいいのかというのが分からないので、ちょっとあいまいな組織だなと思うところもあつたんですが。先ほど部会長の話を聞くとあくまで提言をする組織だということだったので。その辺役場としてはどういう考えなのかなと思うんですけど。

(グループ員3) 例えば子育て支援だとこの間全体会議の中でもこうしてほしいというのを100%で出してきて、たぶんあの感じだと今年は、どうやっていくかというのに話がいくかと思いますよね。今何があつた何があつたというのを出して行って、じゃあどうするかということになると思うんですが、去年のこのA B C Dが書かれた紙と今日もらった意見提言等というものもありますけれど、これをいっぱい出していったほうがいいのか、掘り下げたほうがいいのか。

(グループ員2) ただ、掘り下げるといっても、さっきも話をしていたんだけど予算化したりとかできるわけではなく、あくまで提言どまりですよ。引き続き部会で協議いただきたいものというのは、ここでもう一度話してくださいというものなの？

(事務局) そうですね、具体的にご意見いただいたものもあるんですけど、漠然としていて行政としてイメージもできていないという意見も実際はあると思います。

(グループ員3) そういったものはより具体的な内容で出してほしいということかな。

(事務局) 提言の仕方としてはいくつかあると思うんです。とにかくたくさん提言して行って、その中から役場にできそうなものを選ばせるというか選択

肢をたくさん与えるやり方もあると思いますし、今まで出された意見や今後出されるものでも、より具体性を持たせることができれば実現にも近づくのかなとも思います。役場の中でもイメージしやすいし、とっかかりやすいのかなという気はします。もちろん、先ほどから話にも出ているとおり、予算だったり人的余裕だったり様々ですぐに出来るもの出来ないものというのはあるかと思うんですけれども、よりこう役場がやりやすい形でというところアドバイスとしてもらえれば非常に参考になるのかなというところとか、あと今すぐ役場では動けなさそうだとするとき、それまでの代替措置だったりとか、役場が動けない、動かないのであれば代わりにこうすればいいんじゃないかとか、こっちが代わりにできるんじゃないかとかが出てくると、部会長も話していたみんなができること、自分たちでできることというのになってくるんじゃないのかなと思います。まず基本的には提言までのところだと思うので、役場としては皆さんからの意見を広く聞きたいというところがあります。それぞれの団体の皆さんからご推薦いただいたりとか公募できていただいたりとか、それぞれで活躍されている分野からの声を聞きたいなというのがありますので。

(グループ員2) そうすると、このCとかFとかいった形で出てきたものを話し合えばいいのか、それとも新しい話をすればいいのかということですけど。

(グループ員3) 回答という形で示されたのだから、ここにももう1回くらいは触れといたほうがいいんじゃないですか。

(事務局) そうですね。新しい話題でも全然構わないんですけど、役場からの回答を見て、なにこうやったらすぐにできるだろ、というの感じで代替りの意見みたいなのをどんどん出してくれると。

(グループ員3) 確かにね、この国体関係なんかも今どんどん進んでいる話だし、今週末にはプレ大会も始まるしね。

(グループ員1) だから、これを見て思うのは、こうやって意見をいっぱい出し合うわけなんだけども、これをどこまで意見として汲んでくれるのか。もしこれを聞いて今後やるというのであればとにかく早くやってほしいなということをお願いしたい。

(グループ員3) だからそんな感じでいいですよ、近々の課題であればどの分進んだのか教えてほしいとか。近いやつは近いやつでどうなっているんだとかね。全体会するときにももうそろそろだという話だったけれども、その後すぐにのぼりとかも立ったし。だからそうやって近いのは進めていきながら、体育館の老朽化だとかそういうのは大きい話だから。

(グループ員1) 老朽化してるのは分かっているんだけどね。

(グループ員2) でも老朽化についても何かしらの手立てをしないと。

(グループ員 3) 雨漏りとかはちょっとね。あれは本当に早く直してもらわないと。

(グループ員 1) だから、ただ老朽化しているから直してじゃなく、どこの箇所が悪いとか、ここだけは直してというような形にしていかないと。

(グループ員 2) 建て替えるとかの話になるともう無理なんだろうから。

(グループ員 3) それはまた長期的な問題として、スポーツ部門としては、体育館の修繕を早く何とかしてほしいとかそういうところなのかなと。それこそ今、先週ぐらいから芝桜カップというのを始めていますし、その辺の話だとかしていけばいいんですかね。

(グループ員 2) この前うちも芝桜の大会やったんだけど、晴れていたからよかったけど、雨だったらもう中止にしなきゃいけないんじゃないかというほどですよ、滑って転びますもん。

(グループ員 1) 雨漏りということは天井から？

(グループ員 3) もう色が変わってへこんでるくらい。それでも乾いてしまえばまず使えるんですけども、キュッと止まらないといけなくて滑ってしまう。

(グループ員 2) なのでこれは本当に早急に対応してもらわないと。

(グループ員 1) いいね、こういう話が分かりやすくていい。

(グループ員 4) 体育館というとまだまだあつてですね。照明ですね。照明の球が切れていますので、夜にスポーツやるクラブなんかは大変なんじゃないかなと思うんです。あとはカーテンですね。うちの場合はよく冬場に体育館で大会を行うんですけども、太陽の光が邪魔になるので、カーテンを引いて照明をつけてやるんですけども、カーテンが自動で動かない。

(グループ員 3) 手でも上のほうが引っかかってダメですもんね。

(グループ員 4) そう、だからこれだけいろいろ出てくると直すよりも建て替えてという話になってくると思うんです。

(グループ員 3) もう自動のやつを外して、手動なら手動でというほうがまだいいですよ。

(グループ員 2) 全部モーターがついているせいで動かせないんですよ。この間の大会のときもすごいクレームが来て、明かりが目に入って困ると言われて。正直ちょっと評判が悪いんです。

(グループ員 1) 国体とはちょっと離れて、ハートフルの野球場のことなんだけど。いま町で太陽光とかやっていて、工事に入ったとか今後も増えていくとかという話も聞こえてくるんですけども、ナイターの電気料をさ、もう少し何とかならないかなと思って。けっこうするんだよね、確か2時間で7,000円くらい。だから、どうすればいいというのがあるわけじゃないんだけ

れども、太陽光のとかを使って無料とか格安でとか方法がないものかなと。まあ、あそこに作れば一番なんだろうけども。簡単にしゃべれば安くしてくれということなんだけども。

(グループ員 3) 小学校中学校の上には全部パネルを乗せたじゃないですか。あれは学校の電力をまかなうためなの？例えばあれを町民体育館だとかハートフルに同じように作るというような計画は難しいのかな。例えば学校だから補助みたいなのがあったとか。

(事務局) 私も詳しいところはちょっとあれなんです、たぶん補助か何かがついたからその形にはできたんじゃないかなとは思いますが。

(グループ員 3) そうするとやっぱり再生可能エネルギーの町、クリーンエネルギーの町とうたっているわけだから、いろんな施設の電気料も安くしようよ、というスポーツ部門からの意見。

(グループ員 1) せっかくだから町の街灯も明るくしようということでもいいんじゃないか。

(事務局) 環境・衛生部会とかでも、各自治公民館にソーラーパネルを置いたほうが良いという意見はあったので、せっかく電力とかそういう町として売っていくということもあるでしょうから、そういう提言として出てくるのはいいことだなと思いますけれども。

(グループ員 3) だからハートフルとか体育館にもソーラーパネルとか置くことによって夜の電気料とかをもう少し安くしてもらったり、そういうことはできないだろうかという提言でいいのかなと思います。

(グループ員 1) いいんじゃないか。やれというのではなく、やったほうが良いということだから。

(グループ員 2) この間チャレンジデーのときに国体ののぼり作りを手伝ったんですけども、あれは何個ぐらい作る予定なんですか。

(グループ員 3) あ、手伝ったんですか。あれ全部手書きですよ、すごいと思って。

(グループ員 2) あれ作っているのは職員の方なんですか。

(事務局) あれは、今たっているのは職員が手書きしています。あとは、各県の歓迎のは小学校と中学校にお願いしてました。あとはパネルについては高校の美術部にお願いしたり、出来上がったのは最終的には会場に持ち寄る格好です。外に出ている分については全部職員が作ったものですが、それは全部そこで終わりです。後は中に、会場に持っていくものについてはそれぞれに手配して作ってもらっている、できた段階でお披露目をして、あとは開催期間前と期間中は会場のほうに設置するという予定でいます。ただ、作っているのを待っていると間に合わない、職員がある程度のところはや

ってました。

(グループ員 2) 予算も限られている中じゃ手作りとかで頑張らないとね。

(事務局) まあ、予算というよりも本当は多くの方々に関わっていただいているのがあるんですが、たらたらやっていると間に合わないの。イベントや人が集まる場でPRするためにはそこに間に合わせないといけないので、人を頼んでる時間がないの。役場の職員の中で。役場もなにかかにかの形で関わっていくという感じです。

(グループ員 2) ただ設置されているのぼりを見て国体がくるんだ、じゃなく町民の関わり方ですよ。

(事務局) なので、関わり方としては一つ、のぼりを手書きしていただくとか一般町民向けではパネルを作ってもらおうというところで、各県の特徴ある例えば秋田だったらなまはげだとか青森だったらリンゴだとかいろいろイメージがあるのを件名と併せて書いていただいて、それは自由に書いていただくんですけど、字の大きさだけはちょっと揃えてという感じでそれを北海道から順番に並べる。それを全部関わってもらって、それを募集して今始まりましたので、一人一枚を書くわけじゃなくて交代しながら書くという形で、触ったり携わっていただくことで、そして設置していただいた段階で見に来ていただくことで応援していただく。手ぶらでいってもまず来ないでしょうから。何かやったり自分が関わったことでこちらのほうに来ていただくというようなイメージで少しずつ広げていきました。小学校中学校についても子ども会とかPTAの人たちも関わってというような広がりの中で進めていきますので、自分たちが書いた触ったというのがあれば見に行きたいなという形で。応援の割り振りとかはまた別にあるんですけども。いずれ軟式野球の部分については、他から人がどっと来るという感じではないので、地元の人たちが行って応援しないといけないというのがあるので。ただ来てくださいと言ってバスを出すとかってなってもそのところで集客をするというのは他の県でもあまりないので、だから他の所でなにかかにか関わりを持ってつながっていくという感じで今はやっています。

(グループ員 3) じゃあ国体に向けては着々とという感じですかね。

(グループ員 1) 国体のことばかりであれなんだけど、軽米の会場では歓迎のイベントとかは？例えばだけども駒踊りとか。まあ本当の開会式でもやるかはわからないけれども、各会場でやる開会式とかでもやったらいいんじゃないのかなと思って。

(事務局) 野球の開会式については、岩手県の中で開会式をやるので、個々の部分については各市町村でやって下さいと。で、先催県を見ると、開会式もやらないでいきなり試合開始のところがほとんどです。岩手県はまず挨拶だ

とかそれから、他はナイター施設もない会場だったりするので、試合をとにかく消化したいということなので、8時であれば8時にもうプレイボールと。開会式はもう別の日にやっているの、開会セレモニーはもうやらないという県もあります。ただまあ岩手県の場合は各市町村に任せられているところもあるので、あと協議会との足並みもあるので、そこは協議しながらなんですけれども、とりあえず始球式はやるということと、それから試合の中でインターバルの間にダンスやったりだとか先ほど言われた駒踊りとかやるとかという考え方もありますけれども、そういうのはいらない、とにかく時間を消化させるということに専念しろということなので、もしやるとなれば外で、中ではなく外で。だから選手は見ないですね、一般の来ている人たちが見ると。だから実際は町内の人たちが来て見るという形になると思います。

(グループ員1) イベントはいらないとかそういうことは誰が言っているの。

(事務局) 協議会とか県の野球協会ですね。

(グループ員1) でも県の方でも軽米の独特の雰囲気やイベントを出してもいいんじゃないか。

(事務局) それはそうですね。あくまでも試合進行のグラウンドの中については時間を短縮して、とにかく試合進行をしろということです。その中でどこまで入り込んでやれるかというところは今検討しているところです。

(グループ員1) いや、それはまあどのスポーツだって試合の進行が一番だと思う。ただ、言いたいのは軽米独特の応援というかなんと言うかね、どこのチームが来るかは分からないけれどもあんなに小さな町でたいしたもんだなという印象を持って帰させたいと思うから言っているのであってさ。だって言えばなんだけど他に軽米に何があるんだよ。まあ大して見る人も来ないとは思。ただ、それでもいっぱい来てほしいわけだよ。なんとかして。

(事務局) まあそれで、さっき言った郷土芸能とかもスタンドとかで、チェンジしているインターバルの間でちょこっとやるとかそういったのは検討できますけれどもやるのも子どもたちだと平日で、学校も代わりばんこで、3日間ずたっとというわけにはいかないの、午前中はどこの学校の何年生とかそういった感じで交代でという形になると思います。そういった時に、郷土芸能も子どもたちが多く入っているところが多いので、そこらへんも難儀なところ、大人だけで何とかなるものでもないの。チームの応援の方法なんかはまず各学校のほうへも運動会の応援のようなものだったりなにかお願いしますというようなことではしてますけれども。シーンとしてただ観戦するのではなく、どこのチームが来るかは分からないけれども、看板なども置いてどこの県のどこのチーム頑張れとか、そういったのはしたいと思ってます。1ヶ月くらい前にならないとチームとかも分からない、組み合わせも分から

ないということなのですが、その来るチームの県の看板を1塁側と3塁側に立てておいて応援の直前でやるとかですね。

(グループ員1) 何試合だっけ、6試合？

(事務局) 6試合ですね、2試合ずつ3日間。3日目は5位・6位決定戦だったかな。8時からやって2試合なのでまあ、お昼過ぎくらいには終わるかなというところなのですが、お昼に向けてなにかこう準備したりとかそういった感じかなという。そしてスタッフの人も何も無ければスタンドにいて応援してもらおうという形になるかと思うんですけども。

(グループ員3) 全然わかってなくて申し訳ないんですけど、例えば1日目の1試合目は軽米小学校の2年生が行って応援するとかそういう感じになるんですか。

(事務局) そういう感じではしていました。学年というか学校でですね。小学校3つと中学校ですね。

(グループ員1) 県立高校なんだから高校も応援に来るべきじゃないの。

(事務局) まあ、返事はどうあれお願いはしてました。

(グループ員3) その来た子どもたちで試合の合間に駒踊りしたりとかそういうのは。

(事務局) 学校単位でお願いしてるので、実際はそれをやれる人がいない。応援に来た分は振り替えとかでの対応になるとは思いますが、郷土芸能で参加となるとまたその調整もきくかどうか。中学校の場合は学年ごとになるので。

(グループ員3) 実際の時系列でどう動くというのは教育委員会のほうで調整するんですか。というのは野球の体協との絡みだったりとか。

(事務局) 野球の体協は完全に中の運営のほうを。

(グループ員3) その応援だったりイベントだったりについてもその協会のほうと話をしながら？

(事務局) もちろんです。ただ、野球協会との打合せはまずほとんど競技の部分ですので、外のほうについてはまあ基本的には。

(グループ員3) というのも、そのおもてなしの部分なんかについても実際に運営する野球協会と協議をすればもっとこうした方がいいんじゃないとかそういうのも出るのかなと。我々の提言とすればですよ。提言とすればおもてなしとかについても野球のほうでもいろいろ考えを持っているだろうから、流れを作るときにもっとこう話をしてもらえればいい案が出るのではないかといいところでした。

(事務局) うちの野球協会だけじゃなくて、県の野球協会や地区の野球協会もあって、その足並みをそろえながら進めているところで。あと全体的なの

は全軟連の指示で、それを県の野球協会が受けて、そしてその指示のもとに野球協会が動いて。だからそのスタートするときだとか試合時間だとかいうのは我々が決めているわけではなくてそこに合わせた形になっている。

(グループ員 3) なので、その基本的な流れの中で、じゃあ何ができるかなというところを話し合えればいいですよ。その始球式の時に駒踊り躍らせろとかってなっても今の基本的な流れでは難しいでしょう。じゃあ2年生なら2年生が来たときに駒踊りは無理でも、じゃあ例えば1回の表と裏の間になにか歌を歌うとかね。そういうのだったらできるかなとか。たぶん我々が具体的な内容をこうやったら良いんじゃないと言うよりもなにか盛り上げられればいいよねというのが部会としての提言で、いま言ったように具体的な内容というのはあるだろうからそこを体協さんと実行委員会とですり合わせながら何ができるかというのは積み上げていけばいいのではないのでしょうか、というこの会の提言。

(グループ員 2) まとめてくれてありがとうございます。

(グループ員 3) だからいま駒踊りやったらいいんじゃないとか歌だったらいいんじゃないとか言っても流れも持ってるわけじゃないですし、たまたまその担当者がいるからいいけど。

(事務局) そうですね、それが提言でまずいいと思います。そしてそれを関係機関と連携してもらって、と言うのは私のほうでもないですけどそんな感じの提言でいいんじゃないかと思います。盛り上げるための手立てをとということでいいんじゃないかなと。

(グループ員 2) じゃあこれまでに出了されたものをまとめますと、体育館の修繕、これは一日も早くということ。雨漏りとカーテンと照明。カーテンさえ何とかなれば証明はまだ我慢がなるのかな。それがまず一点。それからクリーンエネルギーの町として施設の電気料をとという話。

(グループ員 3) 役場全体の電気料として下がるのであれば、それをそれぞれの施設に充ててとかできればね。

(グループ員 2) それが2点目。3点目が国体に向けてののぼりとか町民への呼びかけとか応援の仕方とか。やっぱりなにかに携わらないと、ああ国体があるんだなで終わってしまうのでね。以上、ここまで出たのはこの3点ですかね。

(グループ員 4) あの、最後にすいません。町営運動場のトイレのことなんですけれども。トイレがないので、テニスコートと野球場の間になんとか1ヶ所作ってもらえないかなと。

(グループ員 3) 今は中学校のトイレを使っているんですけどよね。

(グループ員 4) ですね。ただ、今はまだ日が長いのでいいんですけども、

秋口になるとその、うちのほうでも太陽光のパネルもつけたんですけども、やはり足下が危ないのと、女の子たちもたくさんいますのでなんとか近場につけてもらえないかなと。早急をお願いしたいと思います。